

編集 後記

このたびの医療制度改革では、「生活習慣病対策、長期入院の是正等、実効性のある医療費適正化方策を国、都道府県及び保険者が共同して計画的に推進する」としており、この中で生活習慣病対策では中長期的な医療給付費の抑制に向けた試みとして、都道府県が糖尿病などの生活習慣病患者と予備軍の減少率などの数値目標を盛り込み、適正化計画を作ること、となっている。計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Act)のいわゆるPDCAサイクルに則り、まず現状評価を行い、エビデンスに基づきながら計画を作りなさい、というわけだが、何分、現状ではエビデンスが乏しいので、勢い、期待、或いは思惑を込めた数値目標と実行計画にならざるを得ないだろう。さて、生活習慣病予防対策策定のためのエビデンスとして、本号にも関連の論文が掲載されている健康教育、保健指導の効果についてのそれは欠くことのできないものである。EBMがわが国で大きく取り上げられるようになり10年以上が経過し、昨今ようやく医師主導型の臨床研究推進の動きが実行に移されるようになった。遅きに失した感がなくもないが、わが国のエビデンスに基づくEBMの実践が徐々に進むことを今後は期待したい。公衆衛生の分野では、必要の差し迫った今からタイムラグなしでエビデンスが続々と出てきて欲しいものである。(佐藤敏彦)

9号予告(第53巻・第9号)

論壇

社会疫学

その起こりと展望……………川上憲人

原著

地域高齢者における身体活動量と身体、心理、社会的要因との関連……………田中千晶, 他

高齢者の社会関連性と生命予後

社会関連性指標と7年間の死亡率の関係

……………安梅勅江, 他

縦断的データからみた介護予防健診受診・非受診の要因……………菅 万理, 他

資料

研修医への効果的な地域保健・医療研修を提供するための質的研究……………松岡宏明, 他

筑波大学公開講座

介護予防における筋力トレーニングのための指導者養成プログラム 筋トレマスター研修会

日 時：第2回 2006年10月6日(金)～10月7日(土)

第3回 2007年2月9日(金)～2月10日(土)

場 所：筑波大学東京キャンパス(東京メトロ茗荷谷駅下車 徒歩3分)

募 集 人 数：各40名

受 講 資 格：市町村職員、ヘルパー、ケアマネージャー、介護予防に関わる方等

受 講 料：12,690円(テキスト代含む)

申 込 方 法：筑波大学公開講座ホームページ参照

第2回の締切は2006年9月6日(水)

筑波大学学務部学務課教育公開担当宛に郵送または持参下さい。

締切後、受講決定者にご案内を通知します。

そ の 他：合格者には「称号 筋トレマスター」の修了証を交付します。

問い合わせ先：筑波大学学務部学務課教育公開担当

TEL：029-853-2216

URL：<http://www.tsukuba.ac.jp/kouken/koukai.html#tky%20ippan>